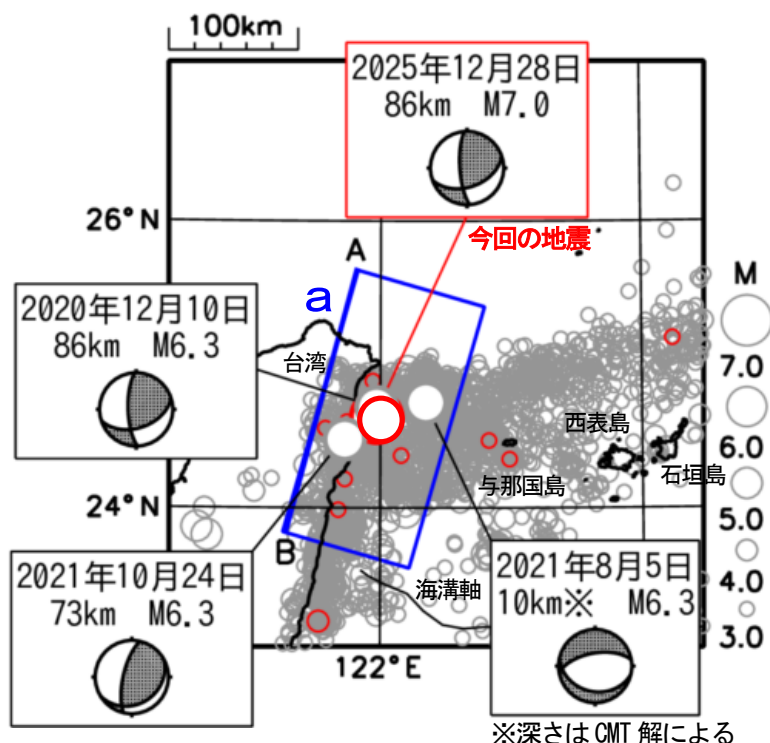


12月28日 台湾付近の地震

震央分布図

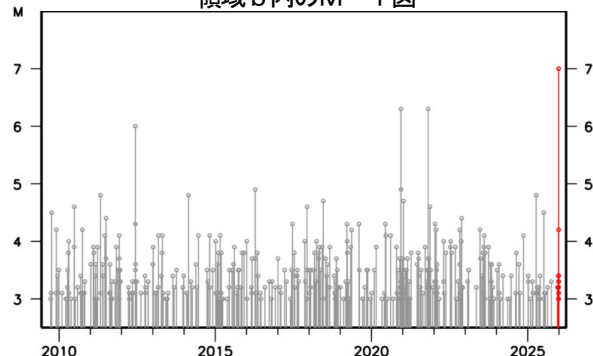
(2009年9月1日～2025年12月31日、
深さ40～150km、 $M \geq 3.0$)
2025年12月の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解



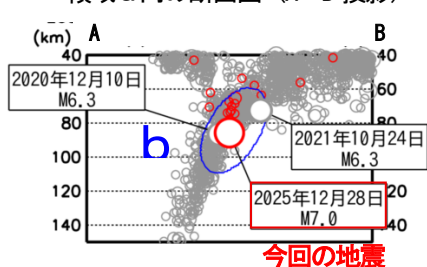
2025年12月28日00時05分に台湾付近の深さ86kmで $M7.0$ の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度3）が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ型であった。

2009年9月以降の活動をみると、この地震の震源付近（領域b）では、2020年12月10日に $M6.3$ の地震（日本国内で最大震度2）が発生するなど、 $M5.0$ 以上の地震が時々発生している。

領域b内のM-T図

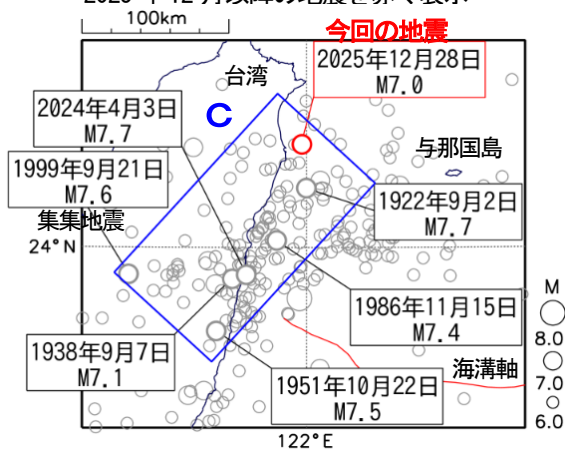


領域a内の断面図 (A-B 投影)



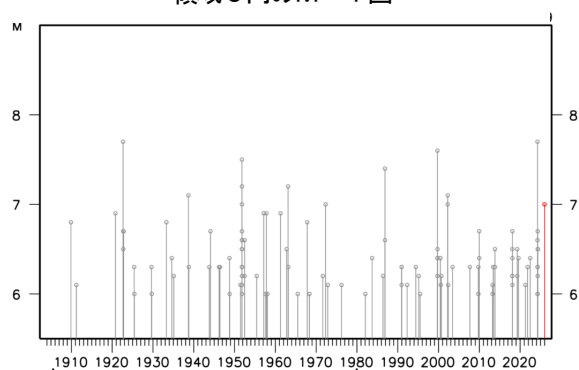
震央分布図

(1904年1月1日～2025年12月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)
2025年12月以降の地震を赤く表示



2020年までの震源要素はISC-GEM、2021年以降の地震の震源要素は気象庁による。

領域c内のM-T図



この期間は検知能力が低い

1904年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、過去に $M7.0$ 以上の地震が時々発生している。1986年11月15日に $M7.4$ の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度3）により、宮古島平良で30cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測し、台湾では死者13人、負傷者45人などの被害があった（被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による）。